

9999まで指で数える！

ビードの指おり法

今のような数字がまだない時代に、両手の指だけで9999までの数字を表す方法を考えた人もいます。7～8世紀にイギリスで活躍したキリストの修道士、ベダ・ヴェベラビリスです。「指を用いる計算と話」という本の中で、下の図のような方法を紹介しました。



1の位	10の位	100の位	1000の位
左手の中指・小指の3本で表す。	左手の親指・人さし指の2本で表す。	右手の親指、人さし指の2本で表す。	右手の中指・薬指・小指の3本で表す。
1	10	100	1000
2	20	200	2000
3	30	300	3000
4	40	400	4000
5	50	500	5000
6	60	600	6000
7	70	700	7000
8	80	800	8000
9	90	900	9000

むかしも今も、みんな大好き！

数のじゃんけん

みなさんがよく知っているじゃんけんは、グーチョキパーで勝ち負けを決めますが、じゃんけん遊びは古代から世界中で行われており、やり方やルールもさまざまです。

指で表した数によってゲームをする「数のじゃんけん」をご紹介します。



ヨーロッパのモーラ

「モーラ」とよばれるじゃんけんは、古代ローマ時代から行われており、国や地域によってさまざまなやり方があります。地中海のコルシカ島では、二人ひと組で行い、指を出す直前に二人の指の合計を予想してさげびます。ぴったり当たればその人の勝ちですが、当たらない場合は、「やり直す」「答えに近い方が勝ち」など、地域によってルールが異なります。

地中海の島では、毎年夏にモーラ大会が行われるほどさかんです。

江戸時代の本拳と大坂拳

じゃんけんは中国から伝わったと考えられ、江戸時代には「虫拳」「とら拳」「きつね拳」「大仏拳」など、たくさんのじゃんけん遊びが生まれました。どちらかというと、大人が酒を飲みながら楽しむことが多かったようです。「本拳」は江戸時代にさかんだったじゃんけん

で、ヨーロッパのモーラと同じです。「大坂拳」は、片手で出した数字をくらべ、相手より1つ多い数を出した方が勝ちで、0は5に勝ちます。

これを1秒に1回というスピードで行い、10回先に勝った方が勝ちになる「球磨拳」もあります。

